

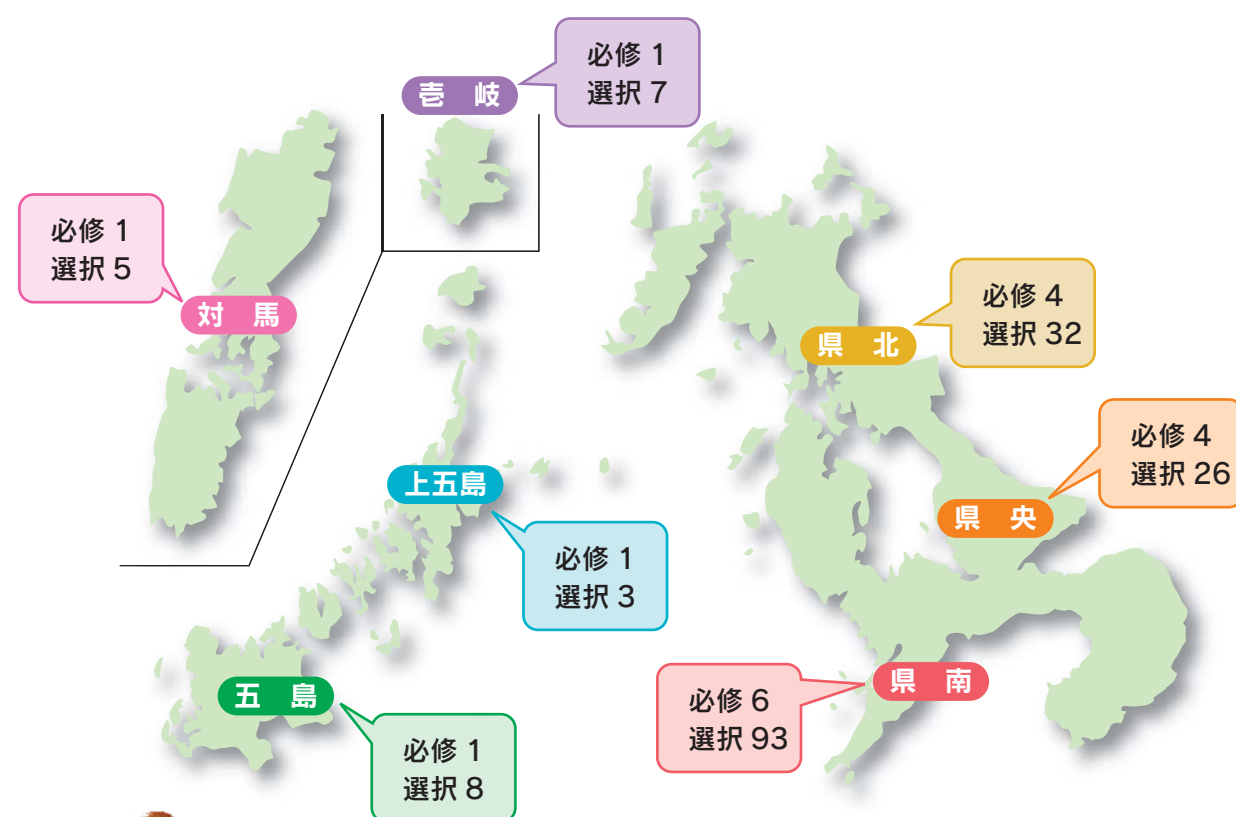
長崎県教員免許状更新講習部門

本部門は、長崎県内の国公立大学及び短期大学並びに長崎県で構成される長崎県教員免許状更新講習連絡協議会の管理・運営の統括をしています。平成27年度の講習は、長崎県内の7地区28会場で必修18講座、選択174講座の計192講座を開設します。

なお、平成28年度から新たに「選択必修領域」が追加され、免許状更新講習の内容が変わります。



講習風景



詳しくは、
「長崎県教員免許状更新講習ホームページ」
<http://www.nagasaki-u.ac.jp/menkyo/>にて、ご確認ください。

■お問い合わせ先

長崎大学 地域教育連携・支援センター
〒852-8521 長崎県長崎市文教町1番14号（教育学部5階）
TEL：095-819-2184 FAX：095-819-2314
E-mail：chiiki@ml.nagasaki-u.ac.jp
URL：http://nagasaki-chiikiedc.jp/



平成27年3月発行



設立趣旨

長崎大学地域教育連携・支援センターは、大学間連携及び地域教育連携・支援を推進することを目的として、平成24年12月に設置されました。

①県下学校－大学連携・支援部門、②大学間連携事業部門、③長崎県教員免許状更新講習部門の三部門が置かれています。

本センターは、「**地域に学び、地域を探究し、地域の課題解決を図る**」を基本コンセプトとして今後も教育分野における地域貢献活動を全学的な体制のもと積極的に行い、将来にわたって地域社会から信頼される大学であり続けるための基幹センターとしての役割を担って行きたいと考えております。

大学間連携事業部門

大学間連携共同教育推進事業

長崎大学では、「グローバル人材の育成」を重要課題として、様々な教育改革を進めています。その一環として、県内の10大学・短期大学(以下「県内大学等」という。)と連携して、「留学生との共修・協働による長崎発グローバル人材基盤形成事業」を実施しています。

この事業は、文部科学省の補助事業として平成24年度に採択されました。県内大学等の留学生と日本人学生が、授業等で共に学び(共修)、インターンシップやボランティア活動で協力しながら働く(協働)ことによって、グローバル社会に必要な能力の基盤を形成しようとするものです。

本事業の特色は、県内大学等の学生によって組織された学生企画運営室が中心となって、様々なイベント・講座等を企画・運営していることにあります。学生目線の様々な活動を通して「異文化理解能力」や「前に踏み出す力」、「協力する力」、「現場力」といった社会人基礎力の獲得を目指しています。



本事業への参加学生数(長崎県内大学の新生)	
平成25年度	475名(日本人学生264名、留学生211名)
平成26年度	475名(日本人学生253名、留学生222名)
合 計	950名(日本人学生517名、留学生433名)

NICEキャンパス長崎

「NICEキャンパス長崎」は、平成13年度からスタートした単位互換制度で、長崎県内全ての大学、短期大学及び高等専門学校の計11団体が参加しています。「NICE」の名称は、Nagasaki Intercollegiate(大学間)Credit(単位)Exchange(互換)の頭文字をとってつけられました。

単位互換制度は、各大学等が提供している授業科目(コーディネート科目、教養科目、専門科目)の中から、希望する科目を履修し、科目開設大学で単位を修得すれば所属大学の単位として認定される制度です。また、認定された単位のうち、所定の要件を満たすものについては、卒業要件単位(大学によって扱いは異なります。)として活用することもできます。受講生からは、「他大学の教授の話を聞けたり、他大学の雰囲気がわかって面白かった」、「長崎について様々な視点から学ぶことができました」というような感想が寄せられています。

平成26年度受講状況	受講者数 学生794名、社会人14名
------------	--------------------

学生連絡協議会(ちゃんぼんネットワーク)

長崎県内の各大学・短期大学・高等専門学校からの推薦により選出された学生による協議会で、学生が地域貢献に関する活動を企画し、実行します。

平成24年度は五島市、平成25年度は壱岐市において、中・高校生を対象に、オープンキャンパスを実施しました。

平成26年度は食に着目し、県産品の地産地消を促す活動を県や市と協力して行い、「ながさき実り・恵みの感謝祭」において、長崎県産品を使用したプレッツェルの試食やレシピの配布等を行いました。



県下学校－大学連携・支援部門

■小中高生対象(大学で実施する事業)

事業名	対象	内 容	平成 26 年度実績
未来の科学者養成講座	小中高生	理科・算数・ロボット・情報などが好きな子どもたちの能力を育成します。	基礎コース：受講者数 小43名、中21名 マスターコース：受講者数 小9名、中25名、高5名
オープンラボ	高 校 生	高校生が大学の研究室等において、見学や実験・実習を行い、研究の一端に触れる機会を提供します。	開講講座数12講座 受講者数 高57名
高大連携事業－高校生公開講座、科目等履修生としての講座	高 校 生	大学での講義を実際に体験・受講する機会を提供します。	教育学部 高16名、経済学部 高25名、工学部 高39名
サイエンス塾	小中高生	大学の研究室等において、見学や実験・実習を行い、科学への関心を高める機会を提供します。	「算数・数学コンクール」連携事業 参加者数 小25名 「科学の甲子園」連携事業 参加者数 高44名 「科学の甲子園ジュニア」連携事業(平成26年度新規事業) 参加者数 中30名(概数) 大学訪問／見学等 中学校2件、高校6件(330名：概数)

※小：小学生、中：中学生、高：高校生

■小中高生対象(学校・地域に出向いて実施する事業)

事業名	対象	内 容	平成 26 年度実績
サイエンスカーラボ	小中学生	県内の小学校及び中学校へ教員を派遣して、先端科学等の実験や講義を実施します。	小学校 43回 参加者数 1,544名、中学校 19回 参加者数 932名、小・中合同 1回 参加者数 100名、中・高合同 1回 参加者数 101名、その他 27回 参加者数 1,687名
高大連携事業－長崎大学「教員の高等学校への派遣事業」	高 校 生	県内の高校へ教員を派遣して、大学における教育研究内容を周知し、高校生の進路決定の支援あるいは課題探究能力の育成を行います。	A：入試・学部説明 2校 B：講義体験 7校 C：A+B 11校 D：テーマ別講義(クラスラボ) 12校
リケジョ育成プログラム	中高生・保護者・教員	理系進路選択支援の一環として 企業や大学、研究所や動物園などで働く多様な理系職に就く女性を講師に迎え、セミナーを開催します。	夢セミナー 3回：参加者数307名 憧れセミナー 2回：参加者数131名 志セミナー 1回：参加者数78名
育シリーズ－書育・音育・植育－	小 学 生	書くこと、音を使うこと、植物を育てることを通して子どもたちのコミュニケーション力を育みます。	参加者数(小学生、保護者、その他)167名

■小中学校教員対象

事業名	実施場所	内 容	平成 26 年度実績
CST(コア・サイエンス・ティーチャー)養成事業	大 学 ・ 所属校等	地域の核となる理数系教員(CST)を養成するため、大学院CST養成課程の講習実施及び教員としての実務研修を行います。	大学院CST養成課程受講者数 小2名・中5名 評価授業及び講師・副講師研修受講者数 小2名・中2名
理数系教員のための基礎講座	大 学 ・ CST活動拠点(校)等	長崎大学やCST活動拠点(校)等を会場として、小・中学校教員を対象に講座を開講します。	4講習 参加者数 小11名・中14名
長崎CST事業「理科教材検討会」	小・中学校教員が日頃活用している教材を用いた実習と教材研究・開発に関する検討会を開催します。		参加者数 小22名・中13名・その他9名
地域理数教師塾	CST活動拠点(校)等	CST活動拠点(校)等を会場として小・中学校教員を対象に教師塾(研修会)を開催します。	7研修会 参加者数 小65名・中30名
外国語活動のための研修会 (県教委と協議の上、会場地を決定)	大学・地域	小・中学校の教職員に対して、具体的な実践授業等の研修会を行うことで、各学校における外国語活動が円滑に行われることを目的としています。	平成26年度新規事業 平成26年度実績 2箇所で実施 小106名・中43名

※小：小学校教員、中：中学校教員

■一般対象

事業名	実施場所	内 容	平成 26 年度実績
NUーサイエンス・ファイト	地 域	一般市民の方を対象に大学教員・研究機関の研究員などによる科学実験、小・中・高校生による研究発表、誰でも参加できるサイエンス・クイズ大会等を商店街等の街中で実施します。	平成26年度新規事業 平成26年度実績 2箇所で開催 研究発表67点・実験観察29件・一般参加者数 約3,000名